

共生社会の実現を目指し、多様性を認め、自己理解につながることを目的とした

## 障害理解のための「出前授業」を実施しています

### なぜ障害理解授業を行うの？

出前授業では、相互理解について学ぶ場を提供しています。障害理解を通して、誰もが共に尊重し合い支え合う共生社会を目指し、児童生徒が自分自身に関わることと捉え、日常生活での実践につながることを目的としています。

### 授業の実際

本校の児童生徒が行っている居住地校交流の事前学習の他に、道徳科や総合的な学習の時間、学級活動の中で行うことができます。

#### 居住地校交流の事前学習（小学校）



低学年～きもちをあわせよう



高学年～知ってる？ピクトグラム

#### 総合的な学習の時間（福祉の学習）



何のマークかな？

#### ～振り返り・感想から～

- ・交流会では、Aちゃんがリラックスできるように話したいです。
- ・困っている人がいたら自分から気付いて行動しようと思います。
- ・相手の気持ちを考えて行動したいです。

## 障害理解授業の内容と進め方

< 授業内容(例) >

小学校	低学年	「あなたは どんな おともだち？」 ・得意なこと、苦手なことの捉え方
	中学年	「だれのための工夫かな？」 ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン
	高学年	「バリアって何だろう？」 ・社会にある四つのバリア
中学校 高等学校		「相手の気持ちになって行動しよう」 ・心のバリアフリー、多様性の尊重
全学年共通		「横手支援学校の友だち」 ・学習の様子、障害の特性や関わり方 「体験活動」 ・言葉のバリア体験（分からない不安） ・お互いの気持ちを合わせる体験 等



< 授業の進め方 (例) >



相互理解について学ぶ機会として、

障害理解の出前授業を活用してみませんか



秋田県立横手支援学校

教頭 稲川 一男 地域支援部 土田 優子

〒013-0064

横手市赤坂字仁坂105番地1

TEL 0182-33-4166 FAX 0182-33-4266

